

名前：

今は今日のニュースや記詞などを読むため
皆コンピューターを立ちあげインターネット
に入る。しいて新聞を買おうとしない。無料
で見ることができるとし、最近アナログでは
見られない情報もふれることができるからで
ある。それに印刷のために多くの量の紙を使
わなくても良いので、地環にもやさしいのだら
う。新聞や雑誌の売りきれが良くないのも無
理でもない。

しかし必ずしも新聞や雑誌が必要ないとは思
わない。

韓国では最近大学の入試で自分の意見を論
理的と書く「論術」試験におもんじている。
インターネットの知識で論理的な話をする
ことができなくなってきたからである。少し遅い
が内容がじゃうじつな新聞とは違い、記詞の
じゃうじつさは考えず速さだけ考えるのがイ
ンターネットのニュースである。じゃうじつ
さのない記詞では自分の考えや意見などは無

視されるしかない。この情報が正しいかどうか
かはインターネットでは考えなくなる。おま
りにも巨大で迅速な情報の海でいつの間にか
ながされてしまうのである。情報を読んで考
える時間のある新聞とはまったく違う。

速く情報をせ、することよりものごとをじ
っくり見、自分の意見で考えができる情報が
せ、することができる新聞のちもないがし
にしてはいけないうのではないと思う。